

# 憧れの舞台で入賞

大牟田の古賀さん

## 「かるたの甲子園」3位に

大牟田市のかるた愛好団体「三池よきもの会」会員で、通信制の精華学園高校三年、古賀なるみさん(17)は、大牟田市上官町IIは第三十六回全国高校小倉百人一首かるた選手権大会に出場。個人戦B級の部で三位に入賞した。同大会は「かるたの

甲子園」とも呼ばれており、今年には全国各地の高校から団体戦に五十校、個人戦に約千二百人が出場。二十、二十一日、「かるたの殿堂」と称される滋賀県大津市神宮町の近江神宮など五カ所を会場に開かれた。試合はトーナメント

形式で行われ、個人戦B級の部には三百十九人が出場。約五十五人ずつ、四つのブロックに分けて試合を行い、古賀さんは第三ブロックに組み入れられた。競技かるたに打ち込む高校生の憧れの舞台。三年生の古賀さんにとっては最初で最後

の出場で、「今までの大会よりも思い入れが強く、大会前の練習にも力が入った」という。一試合目は強豪校の生徒と当たったこともあり、緊張のあまり、最初は大きく負け、後になって巻き返し、四枚差で一勝。第四試合まで勝利したが、第五試合で敗れた。「懸ける思いはみんな同じ。必死なのは自分だけじゃないと思えました」と振り返る。



賞状を手に笑顔の古賀さん

## 「高校生のうちにA級の目標達成したい」

古賀さん

入賞したことで二段から三段へと昇段したが、「優勝するために出たので、全然うれしさはなく、悔しい気持ちの方が強かった」という。これからもかるたに打ち込み、「高校生のうちにA級になるという目標を達成したい」と話していた。

(河野 美緒)